

平成25年12月18日

国際的情報セキュリティマネジメントシステム 「ISMS (ISO27001)」 認証を取得

ISMS (ISO27001) は、保有する情報にかかる様々なリスクを適切に管理し、組織の価値向上をもたらす国際的な情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS: Information Security Management System) です。岡山大学の学内情報基盤サービスを提供している情報統括センターは、平成25年7月から ISMS の基準を導入し情報セキュリティ管理の仕組みを構築し運用しています。審査機関より ISMS の基準に準拠していることが認められ、12月4日に認証書の授与式を開催しました。岡山県内の大学では、初の認証取得であり、本学の情報セキュリティレベルが世界標準であることが証明されました。今後は、更にセキュリティレベルの向上を図り、効率的で安全な情報セキュリティ管理の仕組みを構築する予定です。

岡山大学は、公的な知の府として人類社会の発展を目指しており、学生及び教職員が安心して教育研究に取り組める環境整備に努めています。平成22年度からの第2期中期目標・計画においても、危機管理についての体制を整備し、効果的な危機管理マネジメントを実行することを挙げています。

情報統括センターでは、管理している学内情報資産を標的型攻撃やアカウントの乗っ取りなどの様々な脅威から守り、安定したシステムの構築・運用サービスを提供することで、システム利用者の利便性と本学の信頼向上に努めています。危機管理策の一環として、ISMSの基準を導入した情報セキュリティ管理の仕組みを構築し、平成25年7月より運用してきました。平成25年11月12日付けで、審査機関よりこの仕組みがISMSの基準に適合していることが認められました。



認証書を手にする森田学長(中央)



ISMS 認証書

<お問い合わせ先>

岡山大学情報統括センター

事務室長 中尾 実

TEL:086-251-7103 FAX:086-251-7244